

別添

自然環境整備計画(国定公園等整備事業)

【平成30年度～平成34年度】

ひろしまけん
広島県

平成30年4月

(平成30年12月変更)

交付対象事業等一覧表(1)

(金額の単位は千円)

交付対象事業費	364,655	交付限度額	164,094
---------	---------	-------	---------

I 交付対象事業

1 国定公園に係る事業(生態系維持回復事業を含む)

番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(30年度)	2年目(31年度)	3年目(32年度)	4年目(33年度)	5年目(34年度)
1-1	西中国山地国定公園	三段峡線道路(歩道)事業	安芸太田町(あきおおたちょう)	広島県	153,170	30	34	153,170	84,244	0	85,170	0	24,000	24,000	20,000
1-2	西中国山地国定公園	牛小屋高原集団施設地区公園道事業	安芸太田町(あきおおたちょう)	広島県	31,000	32	33	31,000	17,050	0		0	23,000	8,000	0
	西中国山地国定公園	牛小屋高原集団施設地区野営場事業	安芸太田町(あきおおたちょう)	広島県	18,000	31	31	18,000	9,900	0		18,000	0	0	0
1-3	比婆後帝釈国定公園	中国自然歩道線道路(歩道)事業	庄原市(しょうばらし) 神石高原町(じんせきこうげんちょう)	広島県	132,300	31	34	132,300	72,765	0	17,600	27,000	25,000	25,700	37,000
					334,470			334,470	183,959	0	102,770	45,000	72,000	57,700	57,000

2 国指定鳥獣保護区に係る事業(国定公園外において行われる自然再生施設の整備事業であって、平成18年度以前からの継続事業であるもの)

番号	国指定鳥獣保護区名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(30年度)	2年目(31年度)	3年目(32年度)	4年目(33年度)	5年目(34年度)
					0			0	0	0	0	0	0	0	0

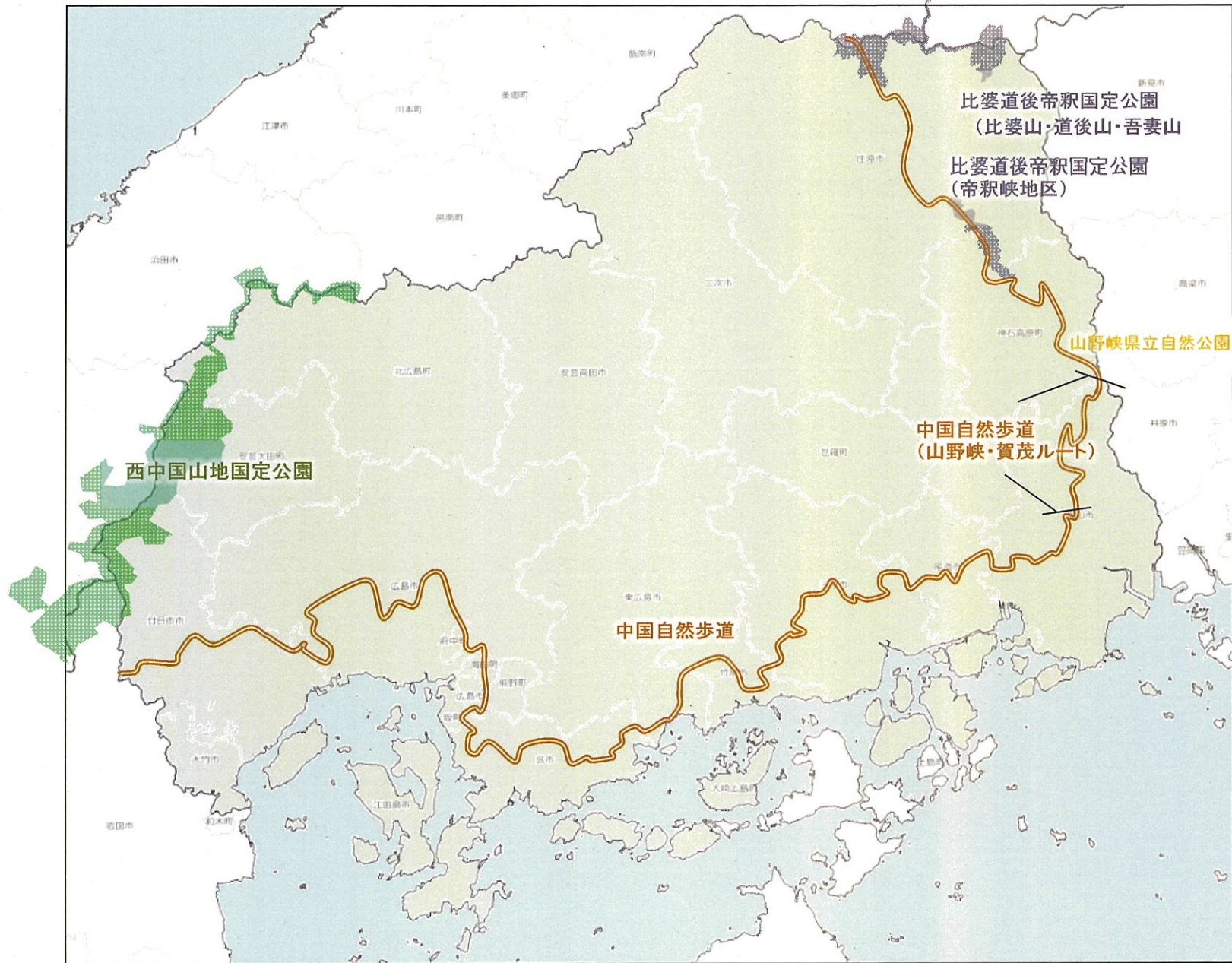
3 長距離自然歩道に係る事業(国立公園及び国定公園内の事業は除く)

番号	長距離自然歩道名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(30年度)	2年目(31年度)	3年目(32年度)	4年目(33年度)	5年目(34年度)
	中国自然歩道線道路 (山野峡・賀茂ルート)	中国自然歩道線道路(龍頭峡歩道)事業	福山市(ふくやまし)	広島県	30,185	30	31	30,185	16,602	0	30,185				
					30,185			30,185	16,602	0	30,185	0	0	0	0

4 合計

番号	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
					開始年度	終了年度				1年目(30年度)	2年目(31年度)	3年目(32年度)	4年目(33年度)	5年目(34年度)
				364,655			364,655	200,560	0	132,955	45,000	72,000	57,700	57,000

自然公園等位置図（関係箇所抜粋）



自然環境整備計画の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	広島県	個別地域	西中国山地国定公園(三段峡線道路(歩道))
-------	-----	------	-----------------------

計画期間	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度
------	---------------------

目標

三段峡線歩道の危険箇所の対策、既存トイレの改修等を実施し、利用者の安全性の確保と利便性の向上を目指す。

目標設定の根拠

個別地域の現状

- 今年開峡100年目を迎えた三段峡は、太田川上流の柴木川が石英斑岩や花崗斑岩の基盤を深く侵食し形成した全長約14kmに及ぶ長大な渓谷で、雄大なスケールと多彩な景観を持つ名峡として国の特別名勝に指定されている。渓谷に沿う探勝歩道からは、大岸壁や幾多の滝や急流、深淵が見られ、その中でも猿飛、二段滝、三段滝、三ツ滝、竜門は三段峡五大壮観と言われ、見所である。四季を通じて様々な表情を見せる峡内には年間を通じて多くの観光客が訪れる。
- 同峡はフランスで最も定評のある旅行ガイド「ブルーガイド」に掲載され、広島県内では宮島、平和公園とともに三ツ星の評価を得ており、近年、外国人の観光客も増加している。

課題

- 三段峡歩道では近年落石や土砂の流出が頻発していることから、不安定で危険な状況となっている岩盤・転石の固定または除去などの安全対策工事を行い、利用者の安全を確保する必要がある。ただ、対策必要箇所は峡内に散在しており、限られた予算の中、優先度の高い箇所を選択し、集中実施していく必要がある。
- また、コンクリート製の橋梁やトイレについては老朽化やオーバーユースの状況も発生しており、再整備等を実施していく必要がある。
- 標識等については老朽化したものや外国人旅行者のための多言語化標識など、必要なものについて整備を行い、安全で快適な施設利用を推進していく必要がある。
- 峡内は文化財の特別名勝に指定されていることから、工法の選定、工事の実施に当たっては関係部署との十分な調整が必要である。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> 機能が低下し、オーバーユースとなっているトイレの改修。また、老朽化したトイレの改築。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒淵地区トイレ改修 猿飛地区トイレ改築
<ul style="list-style-type: none"> 歩道上部の不安定な岩盤、転石の固定または除去。また、老朽化した歩道の改修。 老朽化した案内板、標識の改修。また、多言語化標識の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 正面入口～猿飛区間(L=7.2km)の岩接着工、コンクリート路面工、練石積工、コンクリート橋梁工、サイン工等

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	目標値			
					従前値	基準年度	目標年度	目標年度
利用者数	人/年	三段峡の利用者数	利用状況調査	整備による利用者数の増を目標とし、その指標として平成28年度利用者数を従前値と定め、平成34年度において5%の増加を目指す。	151,000	H28	158,550	H34

その他必要な事項

自然環境整備計画の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	広島県	個別地域	西中国山地国定公園(牛小屋高原集団施設地区公園道)
-------	-----	------	---------------------------

計画期間	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度
------	---------------------

目標

牛小屋高原集団施設地区公園道(車道)の再整備を行い、利用者の安全性・快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

個別地域の現状

・牛小屋高原集団施設地区は県内最高峰である恐羅漢山東側山麓に位置し、登山道、遊歩道、野営場、スキー場、駐車場等施設を配し、年間を通じて様々な活動が楽しめる地区である。特に近年のトレッキングブームや再来したオートキャンプブームにより、幅広い世代による利用が見られる。

課題

・牛小屋高原公園道(車道)については、野営場、スキー場等の当地区施設利用のための基幹道であるが、近年頻発する局地的な豪雨や老朽化等により道路の路肩や舗装の傷みが激しく、利用車両の十分な安全が確保できない状況となっており、再整備を行う必要がある。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> 降雨の洗掘等により不安定な状態になっている道路路肩の改修 舗装路盤の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁工等 アスファルト舗装工 (L=1.4km)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
						基準年度	目標年度	目標年度
牛小屋高原集団施設地区利用者数	人/年	牛小屋高原集団施設地区の利用者数	利用状況調査	整備による利用者数の増を目標とし、その指標として平成28年度利用者数を従前値と定め、平成34年度において10%の増加を目指す。	57,000	H28	62,700	H34

その他必要な事項

自然環境整備計画の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	広島県	個別地域	比婆道後帝釈国定公園内(中国自然歩道線道路(帝釈峡歩道))
-------	-----	------	-------------------------------

計画期間	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度
------	---------------------

目標

帝釈峡地区歩道施設等の危険箇所対策等を実施し、安全で快適な利用を促進する。

目標設定の根拠

個別地域の現状

- ・比婆道後帝釈国定公園の帝釈峡地区は、石灰岩台地を帝釈川が侵食して生じた南北に約16kmにわたる大渓谷で、連続する巨大な崖壁・岩峰・奇岩と、人造湖である神龍湖とが調和して優れた景観を呈しており、国の名勝に指定されている。また、国の天然記念物に指定された『雄橋』や石灰岩地帯に広がるケヤキ群落等の植物群は学術的にも貴重である。
- ・国定公園第1種特別地域に指定されている帝釈峡地域の下帝釈(神龍湖等)から上帝釈(雄橋等)を縦断する探勝歩道は中国自然歩道南北ルートの一部区間でもあり、帝釈峡の四季折々の渓谷美を満喫できるこの地域の中心的な路線で、県外からの利用者も多い。

課題

- ・落石が頻発している歩道沿い斜面の不安定な岩盤や転石について対策工事を行い、利用者の安全を確保する必要がある。特に頻発する落石等への安全対策については危険箇所が多数ある中、また限られた予算の中で、利用者多い地区について集中して実施する必要がある。また、歩道用のトンネルについては開設から相当の年数が経過しており、現在、内壁の劣化が進行し、モルタルの剥離等が認められるため、早急に補強工事を実施する必要がある。
- ・歩道の一部区間については道幅が狭く、路肩も不安定な状況にあるため改良を実施し、歩行者の安全を確保し、幅広い年代の利用を促進する。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・上帝釈地区歩道の利用が多く、特に落石に危険性が高い箇所について優先的に安全対策を実施する。 ・上帝釈地区の道幅が狭く、路肩が不安定な箇所について改良工事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落石防止等安全対策工、擁壁工 ・擁壁工、路面工、転落防止柵 (上帝釈歩道L=2.0km)
<ul style="list-style-type: none"> ・下帝釈地区の不安定となっている歩道トンネルについて補強工事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル補強工 (上帝釈歩道L=0.1km)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
						基準年度	目標年度	目標年度
帝釈峡利用者数	人/年	帝釈峡の利用者数(上帝釈, 下帝釈両地区)	利用状況調査	整備による利用者数の増を目標とし、その指標として平成28年度利用者数を従前値と定め、平成34年度において5%の増加を目指す。	256,400	H28	269,220	H34

その他必要な事項